

徳島県道路啓開計画について

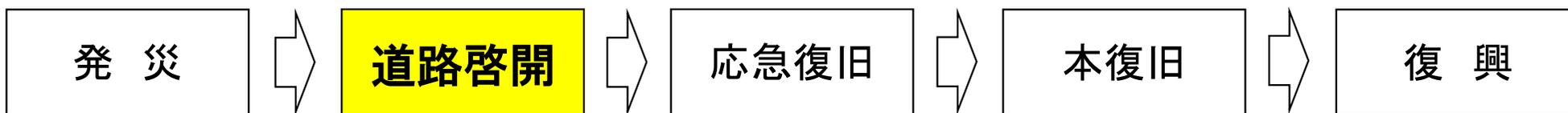
令和6年6月24日

徳島県県土整備部 道路整備課

課長 鈴江 和好

はじめに(道路啓開とは)

- 道路啓開とは、災害発生時に緊急通行車両の通行のため、とにかく1車線でも通れるように早急に最低限の瓦礫処理や簡易な段差修正などにより救援ルートを開けることをいう。
 - 大規模災害では、応急復旧を実施する前に救援ルートを確認するための道路啓開が必要である。
- ※【啓開】切りひらくこと。



出典：東北地方整備局震災伝承館

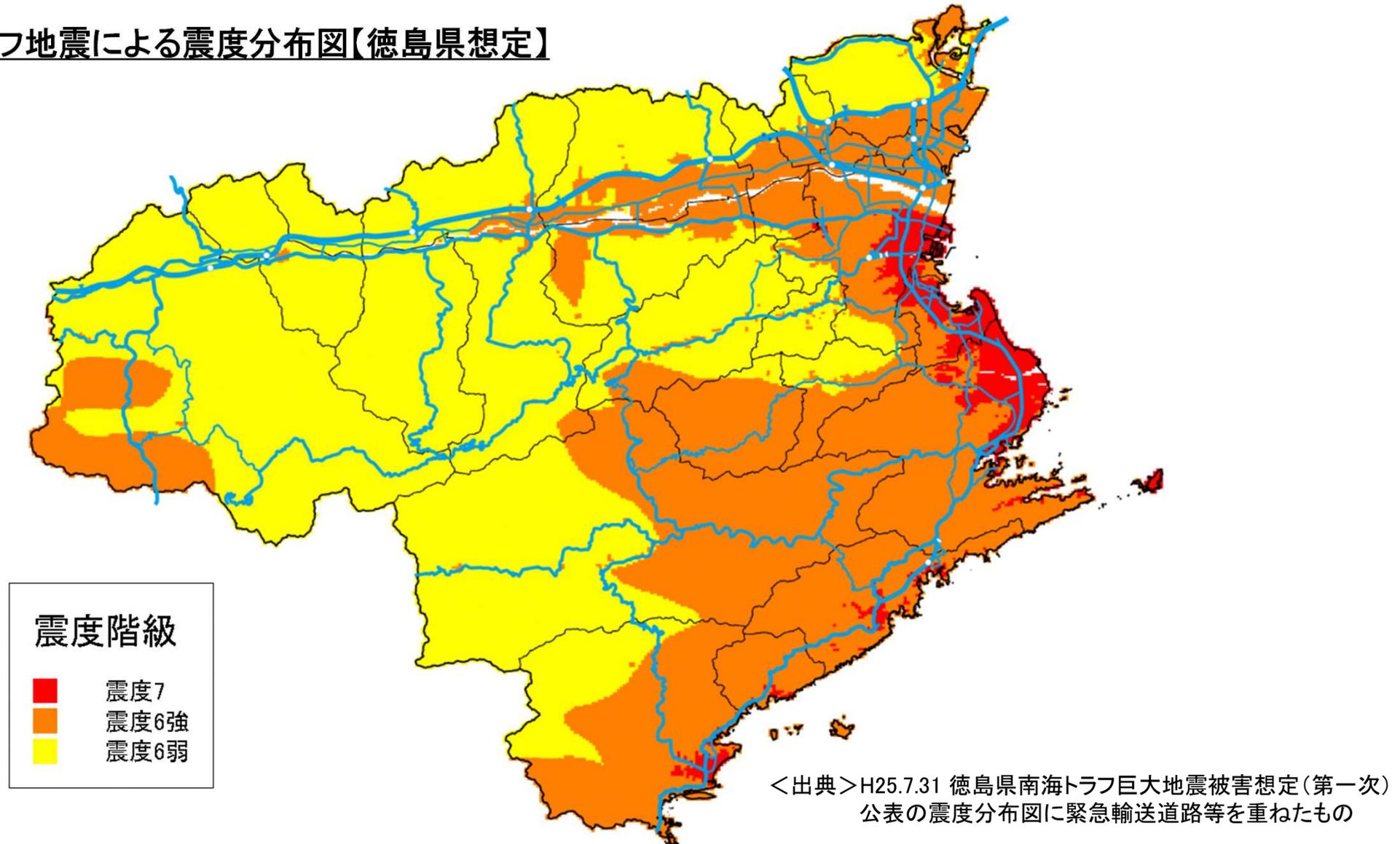
写真 津波によるガレキの堆積や放置車両の様子

1. 道路啓開計画策定の背景及び徳島県の被害想定

南海トラフ地震 徳島県の被害想定<揺れ>

○ 南海トラフ地震は、南海トラフ沿いで発生する可能性のある、最大クラス(M9級)の地震であり、徳島県内のすべての市町村において震度6弱以上の「強い揺れ」が想定されている。

南海トラフ地震による震度分布図【徳島県想定】

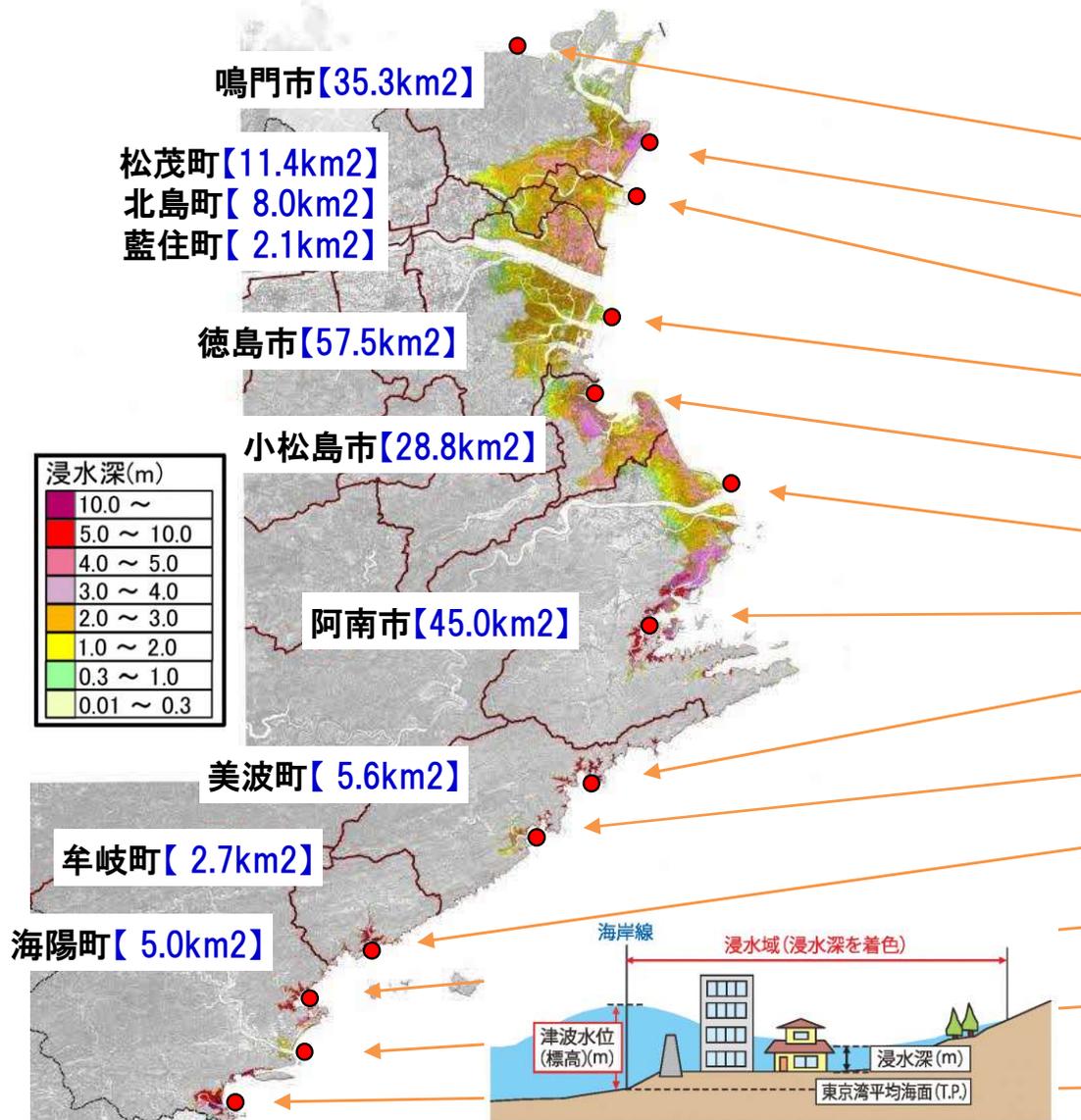


1. 道路啓開計画策定の背景及び徳島県の被害想定

南海トラフ地震 徳島県の被害想定<津波>

○ 最大波による津波水位は、海陽町(穴喰漁港中央部)で15.8mが想定されている。

南海トラフ地震による津波浸水想定【徳島県想定】



箇所	最大波による津波水位(m)	最大波到達時間(分)
鳴門市 粟田漁港	2.7	72 (第1波)
鳴門市 里浦海岸	6.0	64 (第1波)
松茂町 新滑走路東端	5.5	61 (第1波)
徳島市 マリンピア東端	5.0	53 (第1波)
小松島市 本港奥	5.5	201 (第6波)
阿南市 中島港口	5.1	139 (第3波)
阿南市 福井川河口	8.2	97 (第2波)
美波町 由岐漁港口	12.3	29 (第2波)
美波町 日和佐港入口	9.8	28 (第2波)
牟岐町 牟岐漁港湾口	9.8	50 (第2波)
海陽町 浅川湾中央部	10.5	52 (第2波)
海陽町 鞆浦漁港口	8.1	29 (第2波)
海陽町 穴喰漁港中央部	15.8	44 (第3波)

※【Okm²】書きは、各市町での想定浸水面積

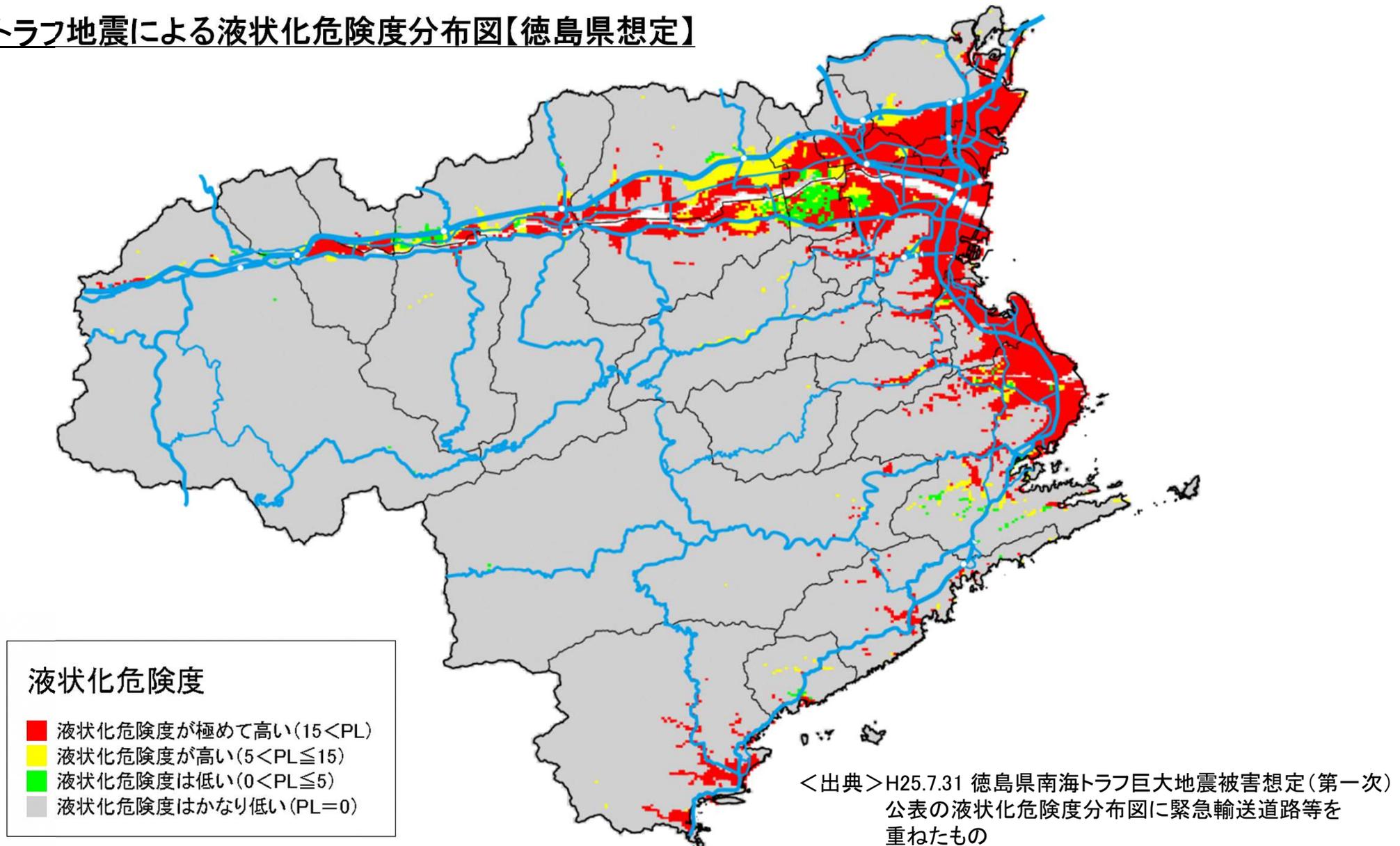
<出典> H24.10.31 徳島県津波浸水想定より

1. 道路啓開計画策定の背景及び徳島県の被害想定

南海トラフ地震 徳島県の被害想定〈液状化〉

○ 沿岸部や河川流域では、液状化の危険度が極めて高いと想定されている区域が多く分布している。

南海トラフ地震による液状化危険度分布図【徳島県想定】



1. 道路啓開計画策定の背景及び徳島県の被害想定

南海トラフ地震 徳島県の被害想定＜人的・建物等＞

○ 南海トラフ地震による強い揺れや津波等により、死者 31,300人、全壊 116,400棟など、甚大な被害が想定されています。

徳島県南海トラフ巨大地震被害想定【徳島県想定】

建物全壊棟数・死者数(最大ケース)			
全壊棟数: 116,400棟	内閣府 (133,600棟)	死者数 31,300人	内閣府 (33,300人)
【内訳】		【内訳】	
・揺れ 60,900棟	(90,000棟)	・揺れ 3,900人	(5,200人)
・液状化 540棟	(4,400棟)	・急傾斜地 30人	(40人)
・急傾斜地 360棟	(500棟)	・津波 26,900人	(27,300人)
・津波 42,300棟	(15,600棟)	・火災 470人	(500人)
・火災 12,300棟	(22,000棟)		

＜出典＞H25.7.31

徳島県南海トラフ巨大地震
被害想定(第一次)より

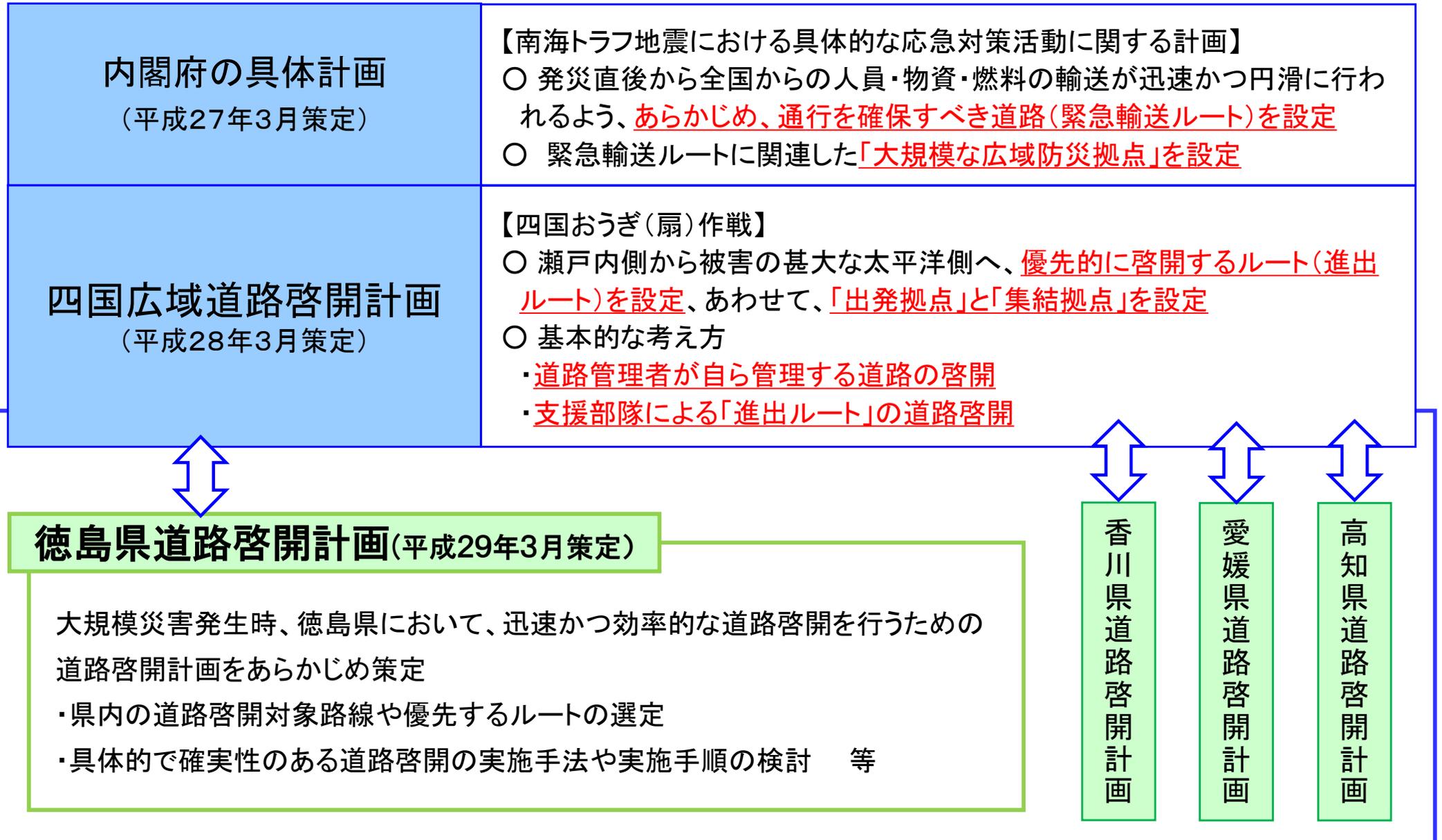
主な想定結果(定量被害)				
○ライフライン被害				
・ 上水道(断水率)				
直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	
92%	73%	56%	22%	
・ 下水道(支障率)				
直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	
79%	79%	26%	1%	
・ 電力(停電率)				
直後	1日後	4日後	1週間後	
98%	72%	47%	38%	
・ 通信<固定電話>(不通率)				
直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	
98%	75%	34%	14%	
・ ガス<都市ガス>(停止率)				
直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	
100%	100%	63%	0%	
○交通施設被害				
・ 道路: 被害箇所数 1,600箇所				
・ 鉄道: 被害箇所数 550箇所				
・ 港湾: 被害バース数 220箇所				
防波堤被災延長 6,000m				
○生活支障等(最大)				
・ 避難者: 362,600人				
・ 入院需要: 9,300人				
・ 廃棄物: 1,600~2,200万ト				
・ 仮設住宅: 70,200戸				
・ 孤立集落: 140集落				
○経済被害				
・ 直接経済被害: 6兆4,000億円				

＜出典＞H25.11.25

徳島県南海トラフ巨大地震
被害想定(第二次)より

1. 道路啓開計画策定の背景及び徳島県の被害想定

徳島県道路啓開計画<位置付け>



2. 徳島県道路啓開計画の概要

徳島県道路啓開計画(平成29年3月策定)

令和元年12月改定	災害拠点病院等に接続する道路を「重要施設アクセス道路」としての追加
令和2年11月改定	警察、消防、役場等の防災活動拠点に接続する道路を「重要施設アクセス道路」としての追加
令和4年3月改定	地震発生直後の初動を「要請着手」から「自動着手」に見直し
令和6年3月改定	「重要施設アクセス道路」を「緊急輸送道路」に格上げ
令和6年6月改定	道路啓開指示系統を「徳島県災害対策本部」へ一元化

【徳島県道路啓開計画の目的】

徳島県では、南海トラフ巨大地震による、強い揺れと巨大な津波により大量のガレキの堆積や放置車両等により、道路網が寸断する恐れがあり、救助・救援、救出活動に大きな支障となることが危惧される。

発災後、迅速かつ効率的な道路啓開を行うため、
あらかじめ道路啓開の手法や実施手順等について具体的に定めた、
徳島県における道路啓開計画を策定するものである。

2. 徳島県道路啓開計画の概要

【徳島県道路啓開計画の要旨（基本方針）】

1. 対象とする災害と被害

本計画は、南海トラフ沿いで発生すると想定される南海トラフ地震による大規模災害を対象とする。

2. 計画を適用する地震規模

本計画は、南海トラフ沿いで発生すると想定される南海トラフ地震発生時に、徳島県内で「震度6弱以上」の地震が発生、または、「大津波警報」が発表された場合に適用する。

3. 地震発生時の初動

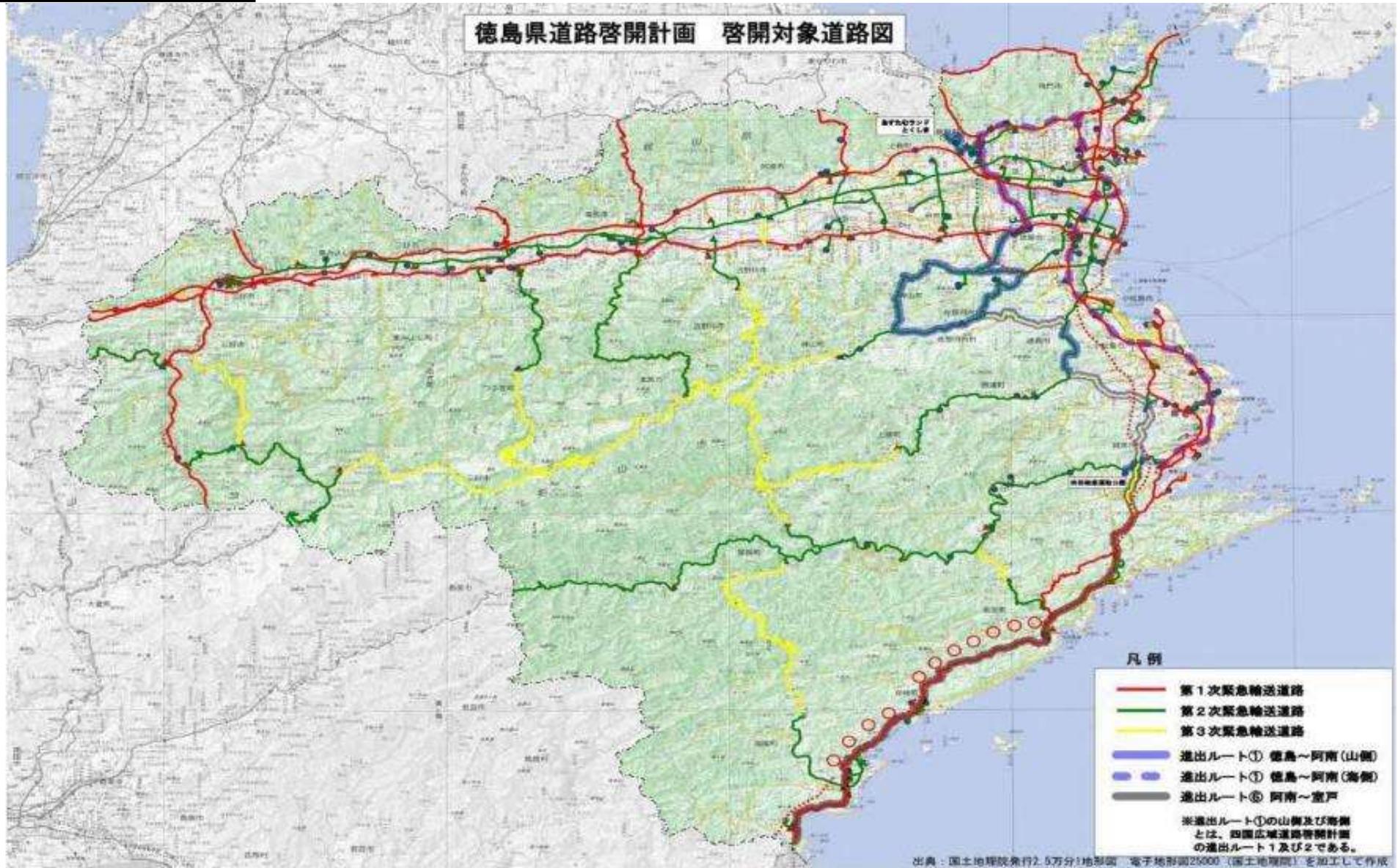
南海トラフ地震発生直後は、通信回線の途絶や停電等により情報通信機器が使用できなくなるなどの混乱が予測されるため、道路啓開作業への着手は準備が整い次第、自動的に着手することを基本とする。

なお、津波浸水想定区域においては、津波警報解除後に道路啓開作業に着手するものとする。

2. 徳島県道路啓開計画の概要

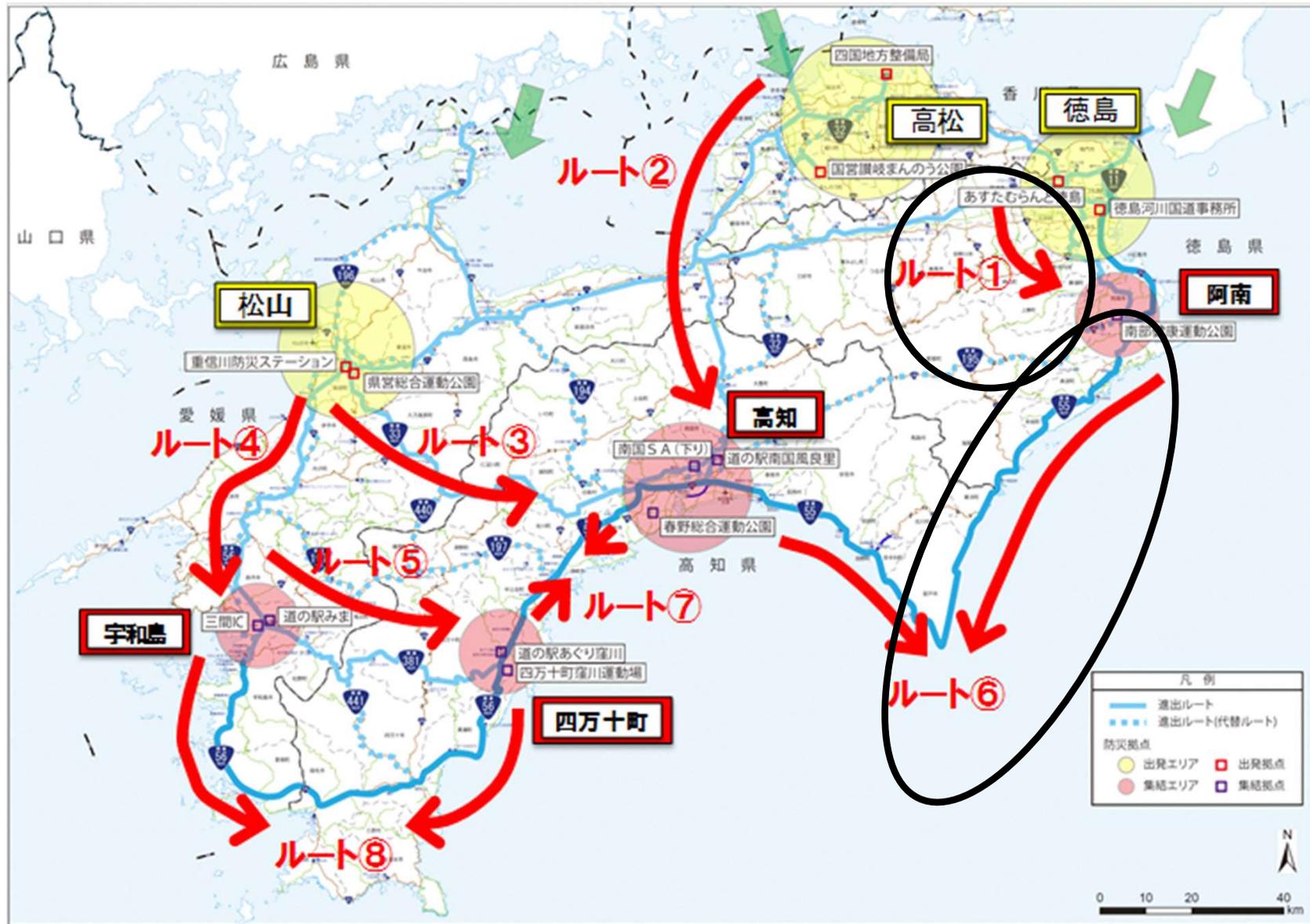
4. 道路啓開の対象道路

道路啓開の対象道路は、徳島県地域防災計画（R6.1）に基づく、1次、2次、3次緊急輸送道路とする。



2. 徳島県道路啓開計画の概要

徳島県道路啓開計画で優先するルート



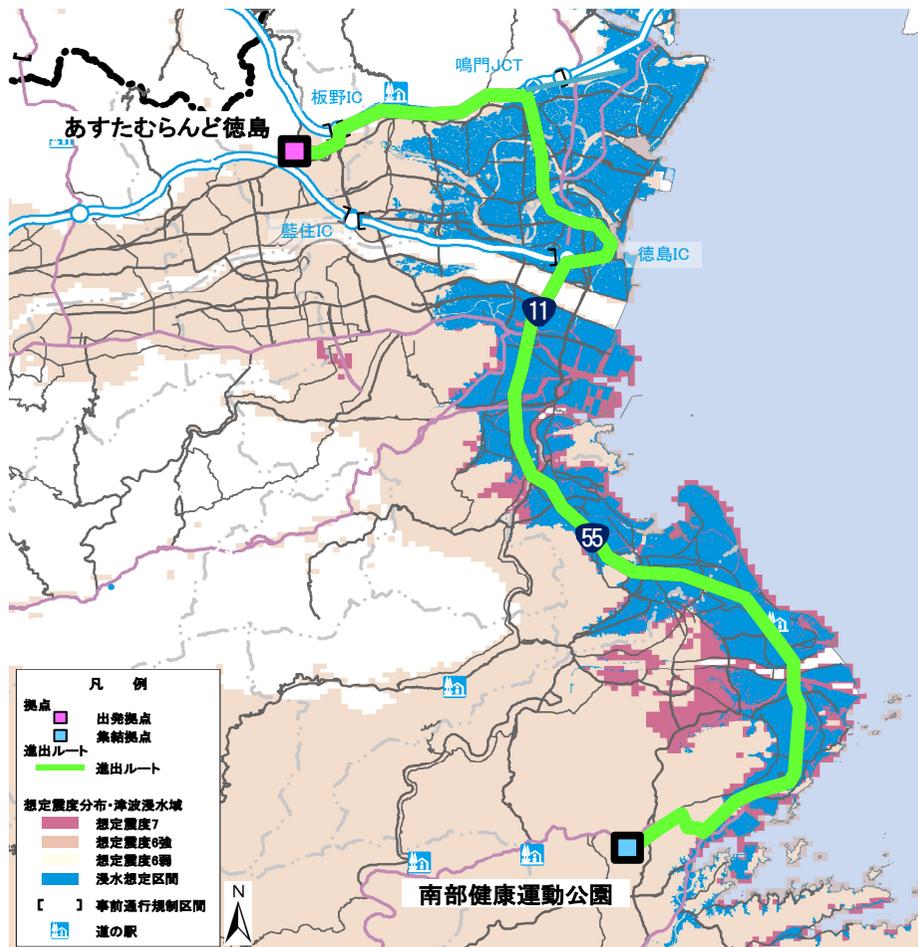
四国広域道路啓開計画で決定した進出ルート

2. 徳島県道路啓開計画の概要

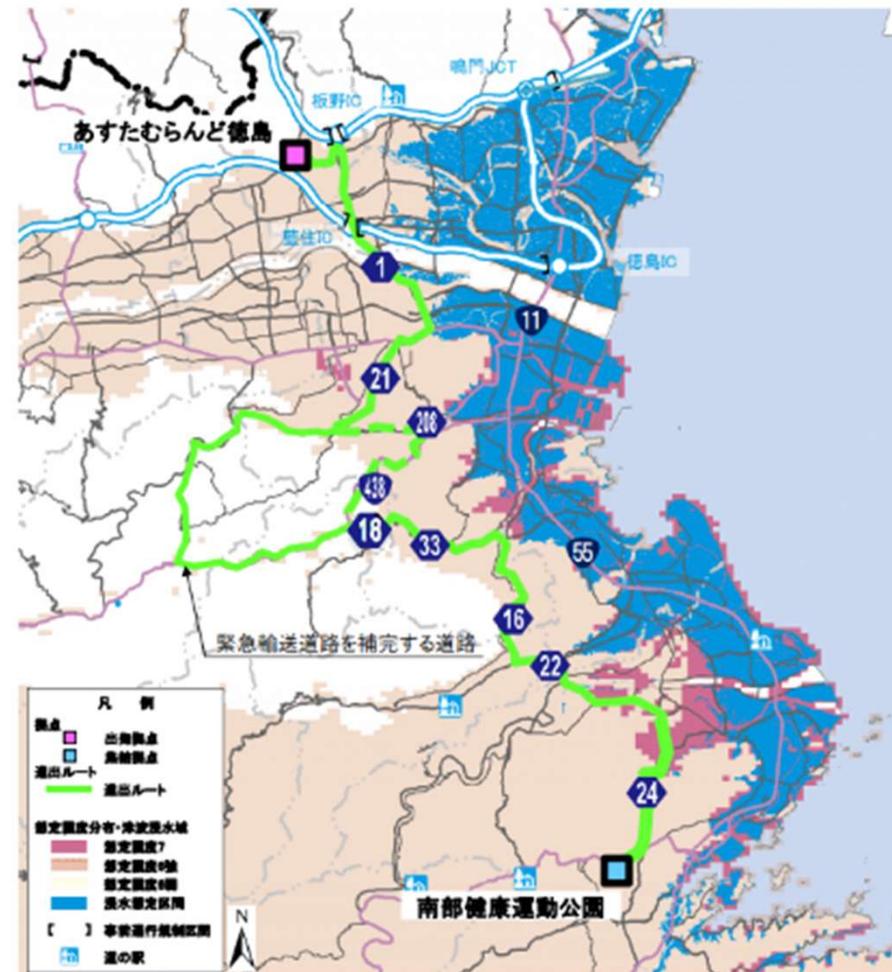
6. 優先するルート及び支援要請等連絡系統

ルート①：徳島～阿南（進出ルート2種類）

進出ルート海側



進出ルート山側



2. 徳島県道路啓開計画の概要

ルート⑥：高知～室戸～阿南

進出ルート 高知～室戸～阿南

